

社会・環境報告書 2019



鍋林株式会社
Nabelin Co.,Ltd
www.nabelin.co.jp

ごあいさつ

弊社は創立100周年を迎えた28年前より、基本方針として「国境を越えた地域社会の繁栄のために積極的な役割を果たし、人々のしあわせを創造していく」ことを掲げてまいりました。この「国境を越えた地域社会」という言葉には、地域社会での身近な行動を基本としながら、その延長が地球規模の総体的な活動にそのまま繋がっていくのだという思いが込められています。繊細な視点と包括的な視野を併せ持って、経済活動や環境活動に取り組んでいくことが肝要であると考えます。

集中豪雨や豪雪、最高気温の更新など、近年多発する異常気象とも言える現象は、地球温暖化と密接な関係があると言われる中、地球温暖化は人間活動によるところがだだとされる中、環境活動の必要性は高まるばかりです。そうした世界規模での環境問題も、個人個人が未来を見据え、そのために何をすべきかという問題意識を持ち、真剣に日々取り組んでいくことが欠かせません。

そうした意識のもと、不必要な電灯を消したり、電気機器のスイッチをオフにする、紙の使用量を減らす、車のアイドリングストップやエコ運転をする、そして公共交通機関を利用した通勤車両ノーマイカーデーを毎週実施するなど、日常の中で一人ひとりが取り組む小さな活動が、ひいては地球規模の持続可能な環境保全に繋がるものと考え行動してまいります。

また同時に、企業の事業活動としても、環境に配慮した商品を積極的に取り上げ、それをお得意先にご提案し、ご採用いただくことによって、環境保全に資しながら社会全体に環境意識を広めていく一助となることを目指してまいります。

本報告書に、2018年度の鍋林株式会社の活動の概要をまとめさせていただきました。ご覧いただき、これからも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

島 宏 幸

事業概要

名称及び代表者	鍋林株式会社 代表取締役社長 島 宏 幸
主な事業内容	医療用医薬品、医療・介護機器、基礎化学品、医薬原料、半導体薬品、電子材料、樹脂、設備機器、食品原材料、食品包装資材、OA機器コンピュータの販売、及び取り扱い品目の輸出入など。
事業規模 (2019年4月末現在)	資本金 1億94百万円 年商 756億11百万円 従業員数 543名

環境方針

【理念】 鍋林株式会社は事業活動を通じて環境保全・社会貢献活動に取り組み、社会経済の発展と地球環境の保全を両立させた持続可能な社会の実現を目指す。

- 【方針】**
1. 環境保全型事業を推進し、持続可能な循環型社会の構築に寄与する。
 2. 環境パフォーマンスを向上すべく、マネジメントシステムを構築し、継続的改善を行なう。
 3. 国内外の環境関連法規、及び当社の同意するその他の要求事項を順守する。
 4. 本環境方針に沿って環境目的及び目標を設定し、必要により見直しをする。
 5. 次の課題を環境目的とする。
 - ① 環境貢献商品の拡大
 - ② 環境負荷の抑制と管理
 - ③ 地域環境保全への奉仕活動
 6. この環境方針は構成員に周知し、また利害関係者など一般へも公開する。

環境目的

1. エネルギー使用の削減
 - 環境負荷抑制項目を設定。
 - 経済活動に準じた原単価式に管理し、発生を抑制する。
 - ノーカーデー参加者を拡大する。
2. 紙類の使用量削減
3. 廃棄物の分別廃棄と排出量削減
4. 地域環境保全への奉仕活動
5. 環境関連活動の拡大

拠点

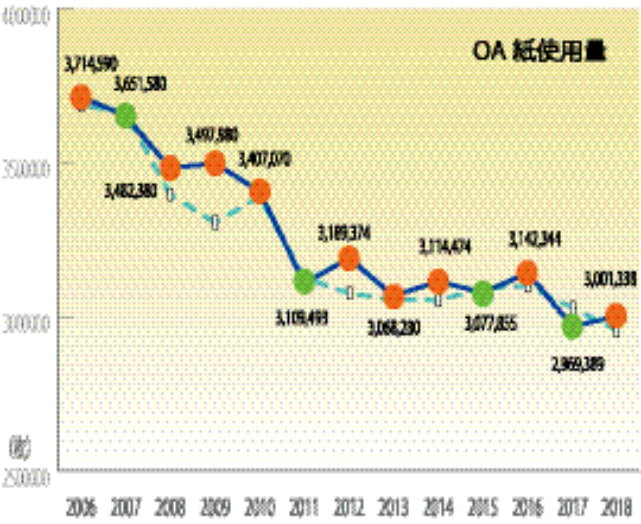
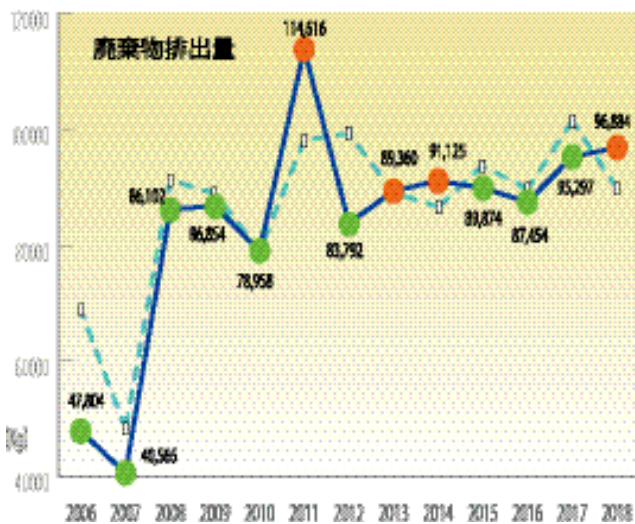
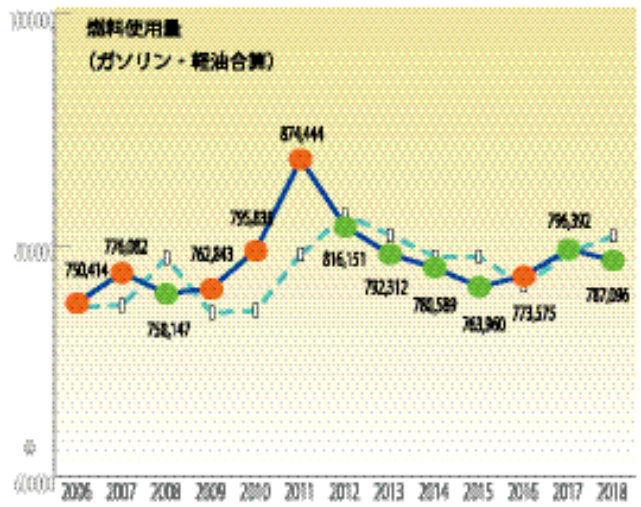
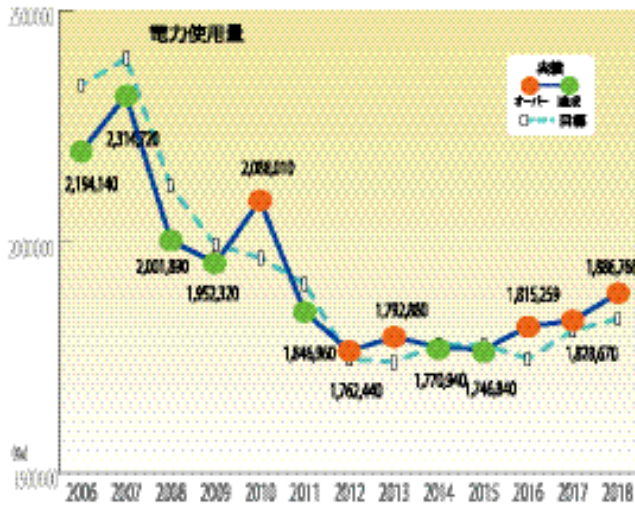
本 店	長野県松本市中央 3 丁目 2 番 27 号	富 山 営 業 所	富山県魚津市大海寺新 329
松 本 本 社	長野県松本市双葉 8 番 10 号	関 東 営 業 所	埼玉県鶴ヶ島市柳戸町 11 番地 7
東 京 本 社	東京都中央区八重洲 1 丁目 3 番 22 号 (八重洲龍名館ビル 7 階)	東 京 営 業 所	東京都中央区八重洲 1 丁目 3 番 22 号 (八重洲龍名館ビル 7 階)
長 野 営 業 所	長野県長野市アークス 1 番 14 号	山 形 営 業 所	山形県東根市大字郡山字四角石 89 番地
松代配送センター	長野県長野市松代町大字豊栄字宮崎 6331 番地	酒 田 営 業 所	山形県酒田市広栄町 1 丁目 1 番 4 号
東 信 営 業 所	長野県小諸市大字西原字金山 646 番 10 号	名 古 屋 営 業 所	愛知県名古屋市中区錦 2 丁目 2 番 24 号 (フージャース名古屋錦ビル 6 階)
松 本 営 業 所	長野県松本市双葉 8 番 10 号	大 阪 営 業 所	大阪府大阪市中央区道修町 1 丁目 4 番 8 号 (道修町ビル 2 階)
あづみ野配送センター	長野県北安曇郡松川村南神戸 4363 番地 32	福 岡 営 業 所	福岡県福岡市博多区博多駅南 3 丁目 2 番 3 号 (アイビービーフェリクス博多 802 号)
岡 谷 営 業 所	長野県岡谷市長地小萩 1 丁目 13 番 11 号	熊 本 営 業 所	熊本県熊本市南区流通団地 1 丁目 10 番 2 号
伊 那 営 業 所	長野県上伊那郡南箕輪村 9033 番地	長崎配送センター	長崎県大村市西部町 971 番地
飯 田 営 業 所	長野県飯田市下殿岡 263 番地 1	鹿 児 島 配 送 セ ン タ ー	鹿児島県霧島市国分敷根 300 番地
甲 府 営 業 所	山梨県甲府市上阿原町 240 番地	台 湾 支 店	日商鍋林股份有限公司台湾分公司 台湾・台北市南京東路 3 段 346-9 號 9 樓 913 室
北 関 東 営 業 所	群馬県佐波郡玉村町大字板井 870 番地		
宇 都 宮 営 業 所	栃木県宇都宮市東宿郷 3 丁目 2 番 18 号 (高智穂ビル 5 階 A)		
新 潟 営 業 所	新潟県新潟市東区逢谷内字居前 339 番地 1		
中 越 配 送 セ ン タ ー	新潟県燕市小関字野中 1041 番地		
上 越 営 業 所	新潟県上越市大字福橋字前田 744 番地 1		

(2019年11月1日現在)

直近5年の環境実績と目標判定

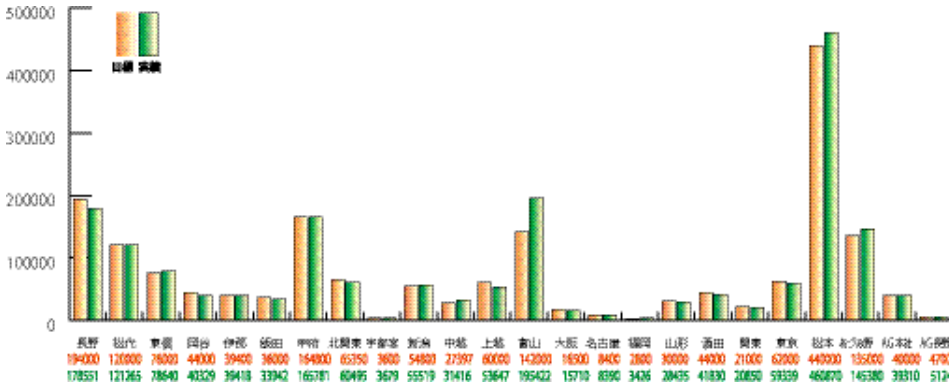
	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 目標	2018年度 実績	対目標	判定
電力使用量	1,770,946kw	1,765,411kw	1,815,259kw	1,828,666kw	1,831,747kw	1,886,768kw	103.00%	×
都市ガス 使用量	10,369 m ³	9,031 m ³	10,392 m ³	10,043 m ³	10,196 m ³	9,731 m ³	95.44%	○
灯油使用量	13,989 L	7,514 L	11,267 L	9,551 L	9,900 L	10,684 L	107.92%	×
社有車両 ガソリン使用量	474,264 L	480,481 L	496,193 L	522,789 L	536,000 L	512,984 L	95.70%	○
社有車両 軽油使用量	210,908 L	196,850 L	189,534 L	180,659 L	181,740 L	178,358 L	98.14%	○
契約車両 燃料使用量	95,417 L	86,629 L	87,848 L	92,943 L	90,300 L	95,471 L	105.73%	×
車両燃料 使用合計	780,589 L	763,960 L	773,575 L	796,393 L	808,040 L	787,096 L	97.41%	○
OA用紙 使用量	3,114,474枚	3,077,855枚	3,140,844枚	2,969,389枚	2,954,250枚	3,001,338枚	101.59%	×
廃棄物排出量	91,125 kg	89,874 kg	87,454 kg	95,297 kg	89,900 kg	96,884 kg	107.77%	×

12年間の目標・実績の推移



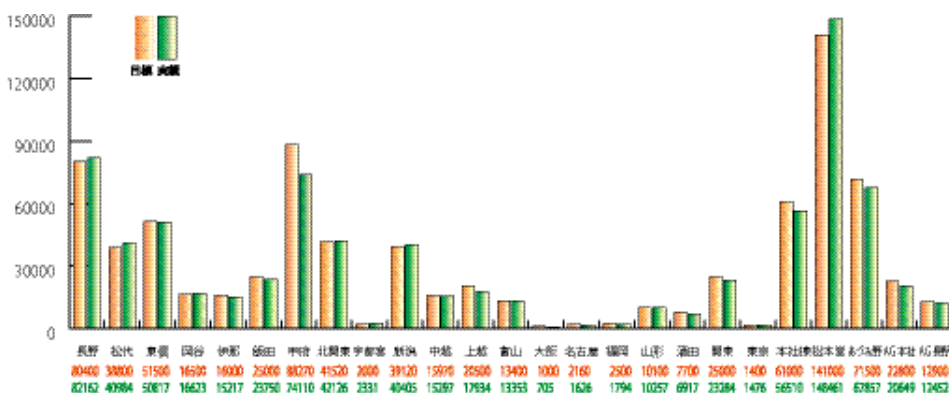
2018年度エリア別実績

電力使用量



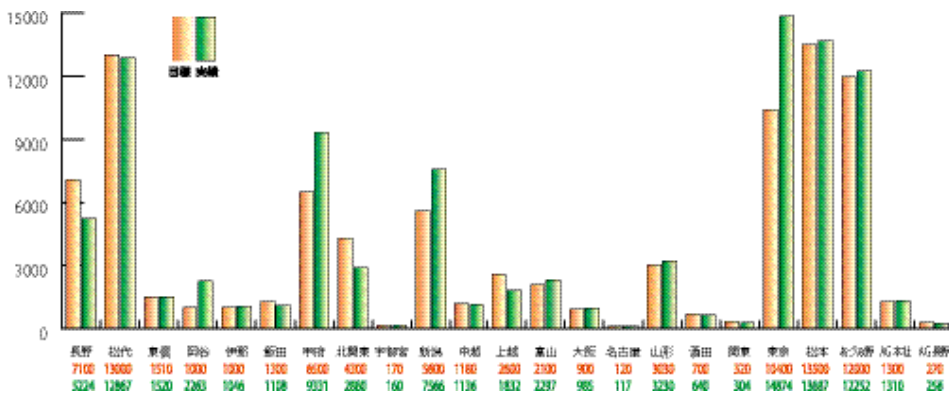
電力使用量は全社で103.0%と目標値オーバーで終わりましたが、後半は暖冬でのエアコン使用低下の影響で減少傾向となりました。年間を通し目標値を大幅に超えた富山や中越に関しては、倉庫温度管理が影響していると思われます。出入りの回数減、開放時間の短縮などの対策を取り、削減を図ります。

車両燃料使用量



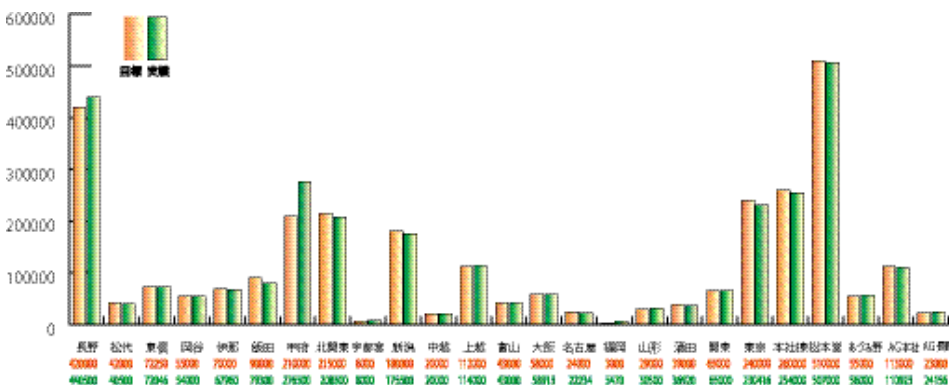
社有車燃料消費量実績は、ガソリン・軽油の合算で97.4%と目標値をクリアしました。燃料別ではガソリン95.7%、軽油98.1%ですが、契約車が105.7%と微増となりました。宇都宮、大阪、福岡など車両台数の少ないところは業務活動の影響で乖離が出てまいります。期間中の減車や増車、車両入れ替えによっても数値が振れるので、全社での目標管理を目指します。

廃棄物排出量



廃棄物排出量は107.8%と目標値をオーバーしました。不要物の整理をした岡谷や新潟、甲府の数値が大きくなった結果ですが、次年度は抑えられるでしょう。東京については新施設転居に伴い、排出物管理がビル管理会社に移管されるため、マネジメントからはずれませんが、3Rを継続してまいります。

OA紙使用量



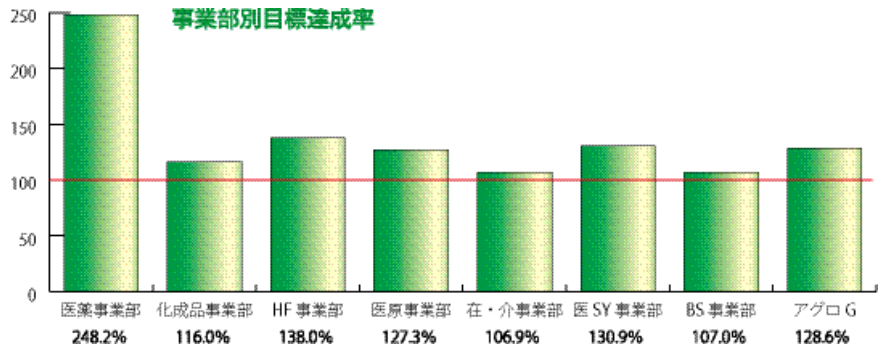
OA紙使用量は101.6%と目標をわずかに上回って終わりました。乖離の大きかった甲府、宇都宮、福岡は、目標値の過小設定によるものなので次年度目標値を修正します。前年度に比べ全体的に上昇傾向にあるため、一層の節約を心がけてまいります。

環境関連商品の取扱い

特に環境に対して良い効果をもたらすものを環境関連商品と位置づけ、各事業部主導のもと、品目を選定、売上目標を掲げ推進しています。

【取り上げた商品例】

凝集剤、吸着マット、非塩素系加工油・切削油、鉛フリー半田、環境配慮型洗浄剤、フィルター、環境測定機器、シリコン、除菌スプレー、環境配慮型複合機、天敵農薬等



社会貢献活動

※清掃活動

事業所ごとに年間計画を定め、清掃活動を実施しております。地域社会への貢献の第一歩として、会社の周りの道路・歩道等の清掃を毎月1回行なっています。

鍋林の関連会社で構成する「かたばみ会」では、年4回「かたばみ会一斉清掃」と題し、各社全事業所で内外の清掃を実施しました。



※献血運動

松本本社では、松本赤十字血液センターの献血車を社内に招き、献血を行なっています。例年、3月と10月の2回実施し、多くの方が献血できるよう各職場で協力しあっています。



※募金運動

薬物乱用を防止する「ダメ。ゼッタイ。国連支援募金」、 「NHK海外たすけあい義援金」への募金活動を行なっています。

※通勤車両ノーマイカーデー

全社で毎週1日ノーマイカーデーを設定し、通勤にマイカーを使わず、公共機関を利用するようにしています。

※地域貢献

ご近所の皆様のお役に立てるよう、営業時間外に松本本社駐車場を行事等にご利用いただいております。夏休みの早朝ラジオ体操やリサイクル品の回収、秋の防災訓練などにお使いいただきました。

また、地域振興につながる行事や催事に積極的に参画することで、文化活動の支援を行なうと共に、環境に関わる各種団体に加入し、それらの活動を通じて社会貢献を行なっています。

【協賛した主なイベント】

- ◎2018 セイジ・オザワ 松本フェスティバル
- ◎第15回信州・松本そば祭り
- ◎第44回夏まつり松本ぼんぼん
- ◎ツール・ド・美ヶ原高原高原自転車レース大会 2018

【主な加入団体】

「小さな親切運動」、「街を花いっぱいにする会」、「穴田川をきれいにする会」、「障がい者スポーツ協会」、「外国籍児童支援会議」、「オイスカ産業開発協力団」、「松本観光コンベンション協会」、「日中友好協会」、「赤十字有功会」、「環境保全協会」、「安全運転管理者協会」、「警察官友の会」、「暴力追放県民センター」、「高圧ガス地域防災協議会」、「危険物安全協会」、「資源循環保全協会」等

環境教育

当社で働く、また当社のために働くすべての環境に影響する活動に従事する人々に対し、教育訓練の必要性を明確にし、その手順を「教育研修要綱」に定め、年間計画を策定して環境教育を実施しています。

①基礎教育（全構成員対象）

- 当社の環境方針、環境目的・目標及び環境マネジメントシステムの要求事項について
- 地球環境問題について

②専門教育（該当者）

- 商品保管、配送、フォークリフト運転教育
- 環境関連商品の知識習得
- 関連法規教育

③緊急事態対応訓練

- 危機管理マニュアル教育
- 消火、避難、救出、救護、緊急連絡訓練
- 普通救命講習



防災訓練

本年度環境活動を振り返り

環境目標を温室効果ガス排出量の単純な削減から、企業活動に準じたエネルギー使用の管理と抑制へと舵を切り6年目となりました。全社をあげて省エネ活動に取り組んだ結果、エネルギー使用は微増にとどまり、企業規模の拡大に比して、抑制された管理がなされていると言えるでしょう。本年度は東京本社の移転などいくつか環境変化があり、対目標値判定は芳しくない結果となってしまいました。次年度も新たな事業所の増加などがあり、難しいマネジメントとなることが予想されますが、これまでの経験値を活かし取り組んでまいりたいと思います。

先日報道で、地球上の緑地面積がここ20年間で5%増加していると知りました。それはアマゾンの熱帯雨林に匹敵する広さだということで、それまで乱開発で森林が消失していると思っていたので意外でした。さらに意外だったのは、その増加が中国とインドの貢献によるものということです。両国は膨大な人口を養うために、積極的に耕作地を拡大したり、土壌侵食や大気汚染防止のため森林保全活動を行っている、その結果だとのこと。環境破壊の張本人と目されていた二国が、持続可能な開発に着手したことで地球環境の改善につながっているのは希望を感じます。その成果は人口規模に依るところが大きいです。一人ひとり小さくとも、まとまれば大きな力となります。弊社も足元の活動を見つめ直し、微力ながらも環境保全に寄与していきたいと思っています。



環境管理責任者
専務取締役

小口 喜也

当社では、外部利害関係者及び行政機関等からの、環境に関する苦情、依頼、問い合わせを常時受け付けています。それらに迅速に回答、対応すると共に、その結果を「環境に関する外部との情報記録表」として記録しています。

当「社会・環境報告書」は当社ホームページ上でも公開し、誰でもお読みいただけるようにすることで、一つでも多くのご意見を頂戴し、今後の環境活動に役立てていこうと考えています。

皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

鍋林株式会社 社会・環境活動／環境報告書

<https://www.nabelin.co.jp/eco/index.html>

ISO14001 認証取得

初回認証 2001年 3月27日

登録番号 E00-188

認証範囲 松本本社、東京本社、
日本国内全営業所、全配送センター、
(熊本営業所、長崎配送センター、鹿児島配送センター除く)
当社取扱い販売分野に関連した
業務全般及び本社・本部スタッフ業務

適用規格 JIS Q 14001 : 2015 (ISO 14001 : 2015) ISO14001 認証取得

社会・環境報告書2019

対象期間 平成30年 5月～平成31年 4月

発行日 令和元年11月18日

編集・発行 鍋林株式会社 総務グループ
長野県松本市双葉 8 番10号

TEL 0263-27-6545

FAX 0263-27-0405

発行責任者 環境ISO主管部門

総務グループ長 小口 裕康